



2023年11月に交流会を実施 釜石広域介護支援専門員連絡協議会様より感謝状を頂きました



今年の1月1日、能登半島を中心とする「令和6年（2024年）能登半島地震」が発生いたしました。まずは、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。YCMとしても募金活動や義援物資等、可能な限り支援を行っており、引き続き支援を継続していく予定です。

さて、YCMでは2011年に発生した「東日本大震災」の際にも現YCMの前身となる団体における支援を行っており、当時から現在も岩手県にある「釜石広域介護支援専門員連絡協会」と交流の機会を図っております。2023年にも交流会が行うことができましたので、かわら版第2号の今回は活動の取り組み報告の一環として、交流会の中心メンバーで現在もYCMで活躍している原田保氏より寄稿いただきました記事を掲載させていただきます。

まず、この度能登半島地震で被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

私がYCMの前身である横浜市介護支援専門員連絡協議会代表を務めていた2011年3月11日、東日本大震災が発災しました。私は事務所に大きな揺れを感じました。スタッフに出来る限り利用者の安否確認をして貰い16時過ぎに全員帰社させ、自身も自宅に戻り、テレビのニュースの映像を見て愕然としました。翌日以降、横浜でも人々日常生活は大きく変化しました。

世界各国から日本への支援の手が差し伸べられる中「私たちも何かできないか」と数名の会員方から声が上がり有志の会を立ち上げ、GWの2日間にわたり桜木町駅前で街頭募金を行いました。

そして10月には復興チャリティーイベントとして「結束の期」を企画。そのイベントに現地のケアマネジャーさんにお越し頂きたく人選していく中、岩手県協会の神崎会長より齊藤裕基氏を紹介して頂きました。齊藤氏は当時の釜石広域介護支援専門員連絡協議会の代表を務めており自身が運営する居宅、訪問看護STなど3事業所が津波で大きな被害を受けておりました。そんな中横浜に来て欲しいと依頼するにはどうしたら良いか、横浜の皆の想いをどう代弁すべきか考えました。（2ページへ続きます→）

(1ページより続き)

メールでの依頼だけではなかなか伝わらないと思い直接会いに行く事を決めました。当時釜石の町は信号機さえまならない状況のなか、彼の仮事務所で初めての対面となりました。

事情を説明し「100年後、なぜ釜石と横浜が繋がっているのか？その時にあの震災が縁だったと後輩に伝えていきたいと思います。100年先の絆に向けて一緒に1歩を踏み出してもらえないか」私はそんな想いを彼に伝えました。

以降『100年先の絆に向けて』をテーマに釜石への支援活動本格的に始まりました。コロナで2年程行けませんでした、2011年以降毎年釜石へ行き、町の変容や皆さんの心の移り変わりを感じさせて頂いております。

私たちの縁は2万人を超える命の犠牲、それに関係する数万人の方々の深い悲しみのもとにある事をわすれず、決して美談で片付けるのではなくその経験を活かし、この縁を大切にしていくことが何よりも大切だと思っています。

私は会と会の繋がりも大切ですが、何よりも個と個で繋がって欲しいと願っています。

これからも釜石の皆さんと淡い交流を続けながら、お互いの身に何かあれば声をかけ、支えあえる関係性を築いていきたいと思っています。



有志の会にて
募金活動を行いました。



釜石市役所、大槌町役場へ表敬訪問。釜石地区のサポートセンター
36か所全てに自動血圧計を届けました。
他、壊滅した8事業所へお見舞金をお渡ししました。



2011年9月 当時の代表齊藤裕基氏と初対面。
右は齊藤氏が運営する被災した訪問看護ステーション



2012年6月釜石広域介護支援専門員連絡協議会
総会にて感謝状を授与して頂きました。



2016年3月11日
合同慰霊祭に参列させていただきました。



2023年11月。2年ぶりに皆で釜石へ。
現地のケアマネさんから当時の様子をお聞き
いたしました。

活動報告

制度対策委員会

制度対策委員会では毎年いまケア研修を開催しています。いまケアとは「いまケアマネ みんなで考える」というスローガンからきています。

さて、令和5年10月11日（水）横浜市健康福祉総合センター4階ホールにて、「令和5年度いまケア 死から生といのちを考える～あなた自身のケアを含めて～」を開催しました。講師には長年にわたり緩和ケアに深く携わりながら医学教育を実践してきた高宮有介先生をお招きし、ご講義いただきました。

緩和ケアに関して、ご利用者さん、ケアマネ等の関わりも含めて「生きる事とは・死ぬこととは」についてのお話がありました。そこで私たちが非常に感銘を受けたのは、「死や緩和ケアは決してネガティブなものではない」ということです。私たちケアマネが終末期の方を担当すると、変わっていく姿をみて悲しい気持ちになったり、自分自身の関わり方がこれで良かったのかと考えてしまったり、ついつい後ろ向きになりがちです。

今回の研修では最後の30分くらいに3～4人のグループを作ってストレスの対処方法についての話し合いや手紙を書いてみるなど、自分のことと相手のことも考えられる機会を作っていただき、気持ちの変化や捉え方について気づききっかけにもなりました。

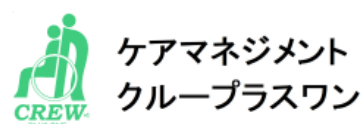
自分自身を誉めてあげる、気持ちを整理する。
いわばマインドフルネスな考え方につなげていくことで、うまく整理がつきケアマネとしてより良い支援に結びついていくことを理解することができました。

参加者の皆様からも「またやってもらいたい」等、概ね好評な意見を頂いており、今後の研修にもつなげていきたいと考えています。



協賛団体のご紹介（合計 28 社）

あなたの身寄りプラス⁺



活動報告

医療連携委員会

令和6年1月17日（水）15時からオンラインセミナーを開催しました。

医療連携委員会としても初めての試みでした。昨年の8月から平和病院の地域連携室の永井様、緩和ケア病棟の山本師長、緩和ケア認定看護師の下河邊様のご協力と事務局の松下氏の援助によって開催できました。平和病院の看護師からは、ケアマネジャーの意見が聞けてよかったとのことでした。

当委員会のアンケートも中間報告をキントーンに上げています。オンラインという制約のなかでも、上手く使いこなせば強力な武器になると思います。

今後、ICT機器を使うことが介護の現場でも必要になっており、こうした技術の進歩に、ケアマネジャーもついていく必要も感じます。参加された皆様には、本当に感謝します。



この先、後悔しないために

ケアマネのためのアセスメントセミナー

参加無料
1.17 15:00～16:30
オンライン開催

セミナーテーマ
緩和ケア病棟の入退院事例

「緩和ケア病棟の事例」をテーマに、利用者のアセスメントをしっかりと行えば、利用者も家族も医療関係者も満足度が向上します。
*研修受講証の発行が必要な方は事前に〇を付けてください。
*申し込み締め切りは申込の受付に、ご参照ください。

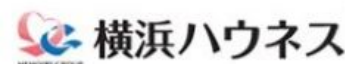
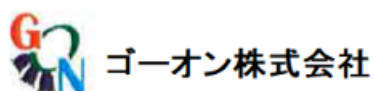
時間	内容
15:00	講演と事例説明 緩和ケア病棟の患者のアセスメント
15:45	グループワーク ブレイクアウトルームでグループワーク
16:15	発表と質疑応答

お申込み WEBフォームまたはこの用紙をFAXで 申込者名: 事業所名:
お申込みください FAX 045-947-4824

【主催】横浜市介護支援専門員協議会 <https://www.ymc2021-k.yogikai.jp/>



motomachi
care
service



活動報告

研修委員会

1 2月6日（水）日本丸訓練センターで横浜市糖尿病受託事業「ケアプランに生かす糖尿病の基礎理解」研修会を開催しました。会員 60 名が参加、けいゆう病院糖尿病内分泌内科部長 城 理絵 先生から糖尿病の基礎理解と管理栄養士の神奈川県栄養士会 副会長 長谷川 利希子 先生から食事支援についてをテーマに学びました。

城先生からは糖尿病の分類から血糖値のコントロールについてまで基本的な説明や事例を通して在宅ケア時の困りごとや支援者として求められること等についてご講義いただきました。

長谷川先生からは糖尿病の食事療法についての話から、在宅での食事支援や管理栄養士による居宅療養管理指導についてご講義いただきました。

講師お二人の話を聞いて、「糖尿病重症化を防ぐと言うことは、住み慣れた自宅で穏やかに過ごすために必要なことであると、腑に落ちた。血糖コントロールばかりを意識せずに、低血糖や低栄養のリスク回避も重要であると学べた」、「糖尿病治療の目的・合併症の予防 他科との連携が重要ということを改めて知ることができ状況を確認してアセスメントにも盛り込めればと思いました」などといったご意見を頂戴し、ケアマネジャーとしての病識の理解や連携の大切さの意識向上に繋がったのではと感じております。

これからもケアマネジャーにとって役立つ研修会を企画・実施していきます。



人にやさしい住まいを
株式会社 サンライトホーム

 SHIBAHASHI

 介護用品・福祉用具のレンタルと販売
ダスキンヘルスレント

金沢ケアマネ倶楽部

 福祉用具・介護用品の販売・レンタル・住宅改修
スマイル・イノベーション

 welmo

港南区ケアマネ連絡会

 MEDICARE CENTER
メディケアセンター

居宅介護支援事業所 ささえ 

事務局より

令和6年度社員総会の開催に向けて

令和6年度の社員総会は6月26日（水）に昨年と同じく横浜市健康福祉総合センター4Fホールにて開催予定です。

社員総会に向けて総会実行委員を組織し、佐藤孔一 総会実行委員長のもと、当日の流れや資料の作成、基調講演の調整など進めております。

会員の皆様には4月頃に案内、5月頃に資料の送付を予定しております。社員総会では、皆様の承認を持って来期の活動につなげていきますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。そして、ご参加が難しい会員様に関しましては、今後案内や資料等と共に送付させていただき、委任状の返信にご協力をお願いいたします。

（昨年の様子）



令和 6 年度会員募集

一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会では横浜市で活動する介護支援専門員が集まり、資質や社会的地位の向上を図ることを目的として、協議や研修等を行っております。

受け付けは**令和 6 年 4 月 1 日より受け付け開始**といたします。

年会費は 3 0 0 0 円です。会員更新される方はお早めの手続きにご協力をお願いいたします。

更新手続き方法

現在会員の方は令和 6 年 2 月～3 月にかけて事務局より年会費の振り込み案内メールをお送りいたします。メールをご確認のうえ、年会費をお振込みいただければ更新完了となります。

4 月になってもメールが届かない場合は大変お手数をおかけいたしますが、事務局までご一報ください。また、現在の登録内容に変更がある方は下記より再度新しい情報での会員登録をお願いいたします。引き続き、新規お申し込みの方も下記より受け付けさせていただきます。

変更ある方

新規お申込みの方



QRコード

←QR コードから YCM 会員登録ページ (google フォーム) へ URL の場合

<https://forms.gle/ioaBPGK7gU5o8ghQA>

※令和 6 年 3 月中は今年度の会員受付となってしまいますので、ご登録とお支払いしないようご注意ください。

※トラブル防止のため、入金後の返金についてはいかなる場合も致しかねますのでご了承ください。

【協賛団体募集お知らせ】

YCM では協賛団体を募集しております。

協賛団体になっていただきますと、ホームページにバナーリンクの掲載や主催研修等にもご参加いただけます。

協賛金は年間 20.000 円です。(4 月～翌年 3 月まで)

ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

ycm-socio@ycm2021-kyogikai.jp

よこみち（会員コラム）

～プロレス同好会～

私たちは YCM プロレス同好会（仮）です。

メンバーは現在 6 名とこじんまりしていますが、プロレス同様、熱い活動をマイペースで楽しんでいます。主な同好会の活動の一つとして地元横浜をフランチャイズとしている大日本プロレスの観戦です。創設 30 年を超える知る人ぞ知る老舗プロレス団体で緑区鴨居に道場を構えています。

これまで横浜武道館や保土ヶ谷公会堂での大会や市内の商店街を応援する『商店街プロレス』（無料観戦！）などメンバーで休みを合わせて会場に足を運んでいます。



また観戦後などに、食事をしながらプロレス談議に花を咲かせています。先日も市内にあるプロレス居酒屋『プロレス道場』にて生ライブ映像や昔懐かしい映像を見ながら熱いトークで大いに盛り上がりました！！

最後はもちろん「1、2、3、ダー！」です(笑)
メンバーは随時募集中です。

私もプロレス大好きです！という方、ちょっと怖いけど覗いて見たい！という方、YCM 事務局までお問合せください！



よこみちとは…

よ（Y）こ（C）み（M）ち（team）＝YCMと仲間（team）が一緒になって盛り上げていきたいという気持ちから、コラムのタイトルにしました。

発行・お問い合わせ先

一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会
（元町ケアサービス内）

TEL : 045-641-3769

e-mail : ycm-socio@ycm2021-kyogikai.jp